

第6学年図画工作科学学習指導案

日時 10月16日(木) 5校時
学級 第6学年1組(30名)
指導者 古舘 俊江

- 1 題材名 まわってきれいを見つけよう
～まわりながら落ちて美しく見えるものを考えよう～

2 題材の目標

紙を切ったり曲げたり貼り付けたりして形をつくり、高いところから落として回転するときに美しく見える形を思いついたり試したりして表す。

【造形への関心・意欲・態度】

- ・落としてまわるものを美しくつくることに関心を持ち、意欲的に取り組む。

【発想や構想の能力】

- ・動きのある形の美しさを感じながら、豊かに発想する。

【創造的な技能】

- ・表したい形を、適切な材料や道具を選んで表現し工夫している。

【鑑賞の能力】

- ・自分や友達の作品のよさに関心をもってみる。

3 題材について

本題材は、紙を切ったり、曲げたり、貼り付けたりして形をつくったものを高いところから落として逆プロペラのように回転して落ちるときに美しく見える形をつくるというものである。紙は、日頃から慣れ親しんでいる材料であり、加工もしやすく、様々な形を生み出しやすい材料である。出来上がった形を美しくつくるということではないので、立体表現が苦手な児童にも取り組みやすい。落ちていくときに美しくまわるという動きのある美しさを発見したときの驚きや感動を通して、子どもたちの感性に働きかけたい。

また、研究主題である「豊かな心の育成」という点においても、形を見付け出すときによく考え、発想し、試行錯誤しながら工夫してつくり出すという点がテーマに沿った題材であると考えられる。

さらに、小集団活動において、友達と作品を見合い、話し合って作品をつくるという点は、一人では発見できなかったアイデアに気づき、喜びを共有することができると思われる。

4 研究主題との関連

(1) 図画工作科で目指す児童像

【心】互いの違いやよさを認め合いながら、よりよい発想に生かし、それを高めていける子

(2) 研究主題(児童像)に迫るための手立て

【心】

①互いの違いやよさを認めあえるようにするために、小集団を活用する

一人一人の発想はそれぞれ違うものであり、感じたことや思ったことを友達と話し合うことで、自分一人では思い浮かばない新しい見方や発見をすることができる。そのために3～4人の小集団での活動を取り入れた。大人数では発言することの難しい児童も小集団の中では自分の思いを伝えやすく深めていけると考えた。

②豊かな心の育成と図工科の目標達成のために、言語活動を充実させる

図工の中での言語活動のひとつは、主に作品をつくり上げていく中で発想が浮かんだときの声、作品を完成させたときの声、友達の作品を見て自分との違いやよさを見つけたときの感動の言葉などである。作品をつくり出す喜びや感動を言葉にして表現することで、自分だけでなく、より多くの人と共感できるようにする手立てとして言語活動が必要だと考える。

普段の授業の中では自分の感じたことを自然に周りの友達と話したりできるように言葉掛けをしてる。

本時の授業では友達作品を見てそのよさを話したり、作品をよりよいものにするため話し合っ一緒に作品をつくっていくことで言語活動を充実させられると考える。また、小集団活動の導入により、より言語活動が充実すると考える。

5 指導計画（全4時間扱い 本時3/4）・評価計画

時間	学習活動	○指導上の留意点・支援 ●評価 (◎重点)
1次 (1/4) (2/4)	1 紙を使って形をつくり、高いところから落として逆プロペラのように回転しながら落ちて美しく見えるものを考える。 2 使いたい紙を選び、個人でつくる。	○回転の違いをイメージできるよう何も加工していない紙を落としてみせる。 ○材料の質の違いなどに気付かせるように実際にさわる機会をつくる。 ●活動を楽しんでいる。(関心意欲態度) ●まわりながら落ちる美しさに気づき、工夫しながら表現している。(発想) ◎紙の種類や切り方などを工夫して、試行錯誤しながら表している。(技能)
2次 (3/4) 本時	3 個人でつくったものを班の中で見せ合う。 4 班で話し合いながら作品を工夫してよりよいものにする。	○友達作品のよさに気付くことができるようお互いに見合うことを指示する。 ◎友達作品のよさに気づき、よりよい作品をつくっている。(発想) ●美しく見えるための工夫をしながら形に表現している。(技能)
3次 (4/4)	5 班の中で一番よくできた作品を友達の前で発表する。 6 発表を見ながら友達作品を鑑賞する。	◎自他の作品のよさや違いを感じ取ったり、認め合ったりしている。(鑑賞)

評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
落としてまわるものを美しく見えるようにつくることに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	動きのある形を考えながら、豊かに発想している。	表したい形を材料の特性を生かして、工夫して表現している。	自分や友達作品のよさや美しさに気付いている。

6 本時の学習（3／4時間）

(1) ねらい

- ・友達と作品を見合い、さらによりよい作品になるようにつくっていく。
- ・形の美しさや、まわり方の美しさを工夫する。
- ・自分や友達の作品のよさを感じ取ったり、認め合ったりする。

(2) 材料、準備

児童：えんぴつ のり

教師：画用紙 色画用紙 上質紙 折り紙 お花紙 工作用紙 はさみ セロテープ ホチキス
マジック カッターナイフ

(3) 展開

時間	主な学習活動	○指導上の留意点・支援 ●評価
導入 5分	1 本時の目標を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">たくさんの「まわってきれい」を見つけよう。</div>	○材料や用具を準備しておく。
	2 前回つくった作品を高いところから落としてもう一度試す。	○前回個人でつくった作品を班で見せ合い、よりよい作品になるように、班で協力してつくることを伝える。
展開 30分	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;">3 班の人と話し合いながら協力してよりよい作品をつくる。 C「こういう形にするとよくまわったよ。」 C「色をつけてみようか。」 4 相談し合ってよくできた作品を選んでおく。</div>	○机間指導をしながらまわり方や美しく見せる工夫をアドバイスする。 ●進んで友達と話し合い、活動を楽しんでいる。(関心・意欲・態度) ●紙の重さや切り方などよくまわる形を工夫している。(創造的な技能) ◎友達の作品のよさを理解し、よりよい作品づくりに生かしている。(発想の能力、鑑賞の能力)
まとめ 片付け 10分	5 いくつかの班の中でよくできた作品を全体に見せ、説明する。 6 他の班の発表を見たり話を聞いたりしながら、どんなところが美しかったか感想を伝え合う。 7 片付けをして、次時の予告をする。	○作品の美しかったところをよく見て、発表できるように声掛けをする。 ○それぞれの班で工夫をして、より美しくすることができたかを全体で共有できるように何名かに感想を聞く。 ●友達の作品のよさや自分との感じ方の違いを理解している。(鑑賞の能力) ○次の時間に各班から一番美しくできた作品を見ることを伝える。